

## 研修制度 互いに教え合い、高め合う組織へ



ニトリグループの代表的な研修制度であるアメリカセミナーは、入社2年目で参加する「入門コース」から選抜式の「上級コース」まで様々なコースが存在し、毎年約1,200名が参加します。長年続くこのセミナーの目的は、「豊かな暮らし」を五感で体験し、会社のロマンを再認識すること。ニトリグループのロマンの原点であるアメリカの地で、大衆の暮らしを支えるチェーンストア企業の最新の取り組みや売場、商品を視察し、従業員は多くの気づきと学びを得ます。しかし、2020年度は新型コロナウイルスの影響でアメリカセミナーの全コースが中止。長期的かつ継続的な取り組みが不可欠な人材育成において、その教育の歩みを止めることがないよう、即座に国内での研修に切り替え、様々な研修を立ち上げました。



2019年度 アメリカセミナー リーダーコースの様子

## 従業員に学びの機会を与え、その成長を後押しするための研修・取り組み

### NCCS (ニトリカラーコーディネートスクール)

約1年かけてインテリアコーディネーションの知識を学び、コーディネーションのプロを目指す、わが社の社内講座。パート・アルバイトを含む全従業員が受講できます。「コーディネートはセンスではない、ルールである。」という考えのもと、受講者はコーディネートの正しい知識を習得し、学んだ知識を「実務を想定した課題」を通してアウトプットしていきながら、お客様の要望に合わせてコーディネートを提案できるスキルを身につけます。基礎知識を学ぶ「基礎コース」、お客様の要望を踏まえたプランの提案を身につける「アドバイザーコース」など、スキルレベルにあわせて4つのコースを用意。NCCSの受講が商品部や法人事業部への配転に繋がる事も多く、キャリア構築の一助を担う重要な教育機会となっています。



### ジョブシャドウイング研修

ジョブシャドウイングとは、受講者がさまざまな企業や組織の社員の「影」のように同行し、業務体験することで、将来の働き方や生き方を考えるキャリア教育のひとつ。2020年度は、入社4年目の社員70名が参加し、全10部署\*が受け入れ部署として協力しました。本部部署の業務を実際に体験することで、受講者は座学では伝わりにくい業務のやりがいや楽しさを実感。さらに、実際に働く社員のそばで業務を体感することで、その難しさや意義までも理解でき、若手社員が自らのキャリアプランをより明確に描くことに繋がっています。  
※商品部、組織開発室、品質業務改革室、内部統制室など



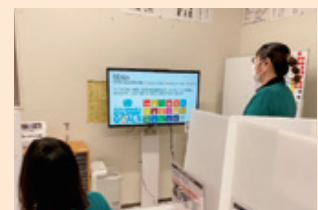
### GCON (Global Communication Online at Nitori)

社員の語学強化を目的とした、オンライン形式のビジネス会話講座です。ニトリグループの実務を想定したビジネス会話を身に付けることで、社内のグローバルリテラシーの向上を目指します。講座内容やテキストはすべて、実際に業務に即した内容になるよう人材教育部が一から作り上げており、グローバルで活躍できる即戦力を育成する講座となっています。特徴は、社内の語学堪能な社員が講師を務めていること。これまでに26名の社員が講師として活躍しており、個人がスキルを活かせる場をつくることで、学び合い成長し合う文化の醸成に繋がっています。



### 店舗デジタルサイネージ導入

安心して働ける職場環境づくりや、従業員のエンゲージメントの向上を目指し、会社と従業員のコミュニケーションの活性化に力を入れています。その一環として、店舗で働く社員・パート・アルバイト社員の知識・満足度向上のために各店舗の従業員が視聴できる場所にモニターを設置し、会社の最新情報を配信。配信する情報は各部署から常時募ることで、偏りのないフレッシュな情報を配信できる体制となっています。新商品紹介動画などは、とても参考になったと声があがっています。



### パート・アルバイト社員向けの研修

従業員全体の約9割を占めるパート・アルバイト社員は、ニトリグループを支える大切な人材です。パート・アルバイト社員が、業務を通してやりがいや成長を実感できるよう、様々な研修を設けています。特に、全国の店舗で働くパート・アルバイト社員の方に向けては、コロナ禍でも教育の機会を減らさぬように、店舗運営部が中心となりオンライン研修を充実させています。研修は、専任の教育トレーナーが講師を務め、録画ではなくライブで実施。双方向でのコミュニケーションを重視することで、受講者の学習意欲を引き出す研修となっています。本部が一括して教育を担うことで、店舗ごとの教育の質と機会のバラつきを失くし、ニトリグループで働く全ての従業員が、成長する楽しさや業務へのやりがいを感じながら、安心して売場に立てるように、取り組んでいます。



研修例：新人教育/レジの操作方法/ソファの商品知識/カーテンの商品知識 など